

ラジオ、ヒーター、エア・コンディショナーの使い方

ラジオ、ステレオの使い方	92
アンテナ	92
ラジオ、カセット・ステレオ	92
ヒーター、エア・コンディショナーの使い方	118
吹き出し口	118
ヒーター	119
エア・コンディショナー	123
オート・エア・コンディショナー	125



ラジオ, ステレオの 使い方

■アンテナ

セダン/ハードトップ

▶埋め込み式

リヤ・ウインドウ・ガラスに埋め込んであります。

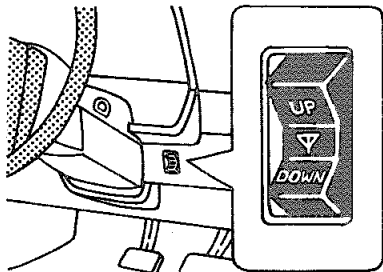
★アンテナ入りガラス(室内側)の清掃は、ぬらした布で熱線にそって、軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは使用しないでください。

ワゴン/バン

▶引き出し式*

使用時は、いっぱい引き出します。

▶電動式*



1. エンジン・スイッチが ACC または ON のとき使用できます。
2. スイッチの UP (上昇) 側を押している間、バック・ドア左側にあるアンテナが自動的に上昇します。
3. DOWN (下降) 側を押している間下降します。

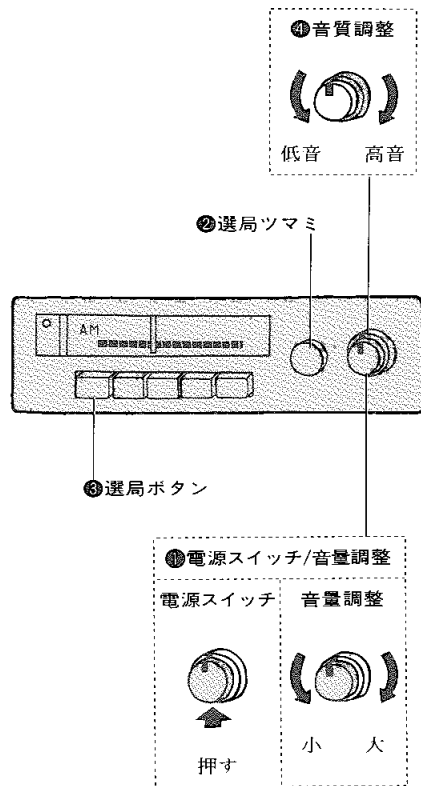
★アンテナ周囲の安全を確認してからスイッチを作動させてください。

★上昇・下降が終わったらスイッチから手をはなしてください。

★車からはなれるとき、または使用しない場合はアンテナを収納してください。

■ラジオ, カセット・ステレオ*

A M ラジオ



*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

無断複製禁止

▶ラジオ放送を聞くには

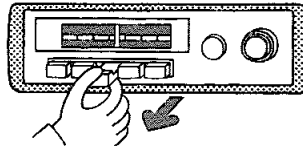
1. エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

★エンジン停止時は、ラジオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

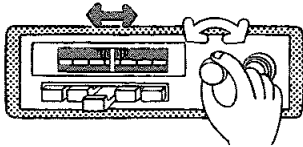
2. 電源スイッチ①を押して電源を入れます。もう一度押すと電源は切れます。
3. 音量調整ツマミ②を回して音量を調整します。
4. 選局ツマミ③を回して希望の局を選びます。
5. 選局ボタン④をあらかじめセットしておけば、ボタンを押すだけで希望の局がワンタッチで選局できます。(選局ボタンのセット)を参照してください。)
6. 音質調整ツマミ⑤は好みに応じて調整してください。

〈選局ボタンのセット〉

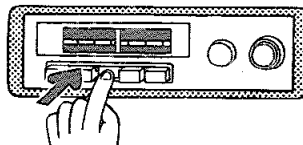
1. 選局ボタンの1つを、いっばいに引きます。



2. 選局ツマミで、選局指針を希望の局に合わせます。

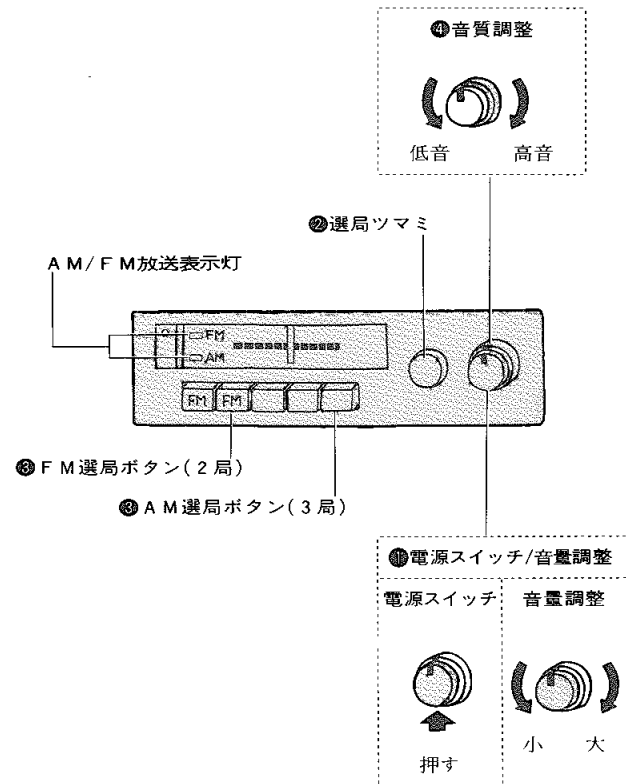


3. 引き出した選局ボタンを、いっばいに押し込みます。

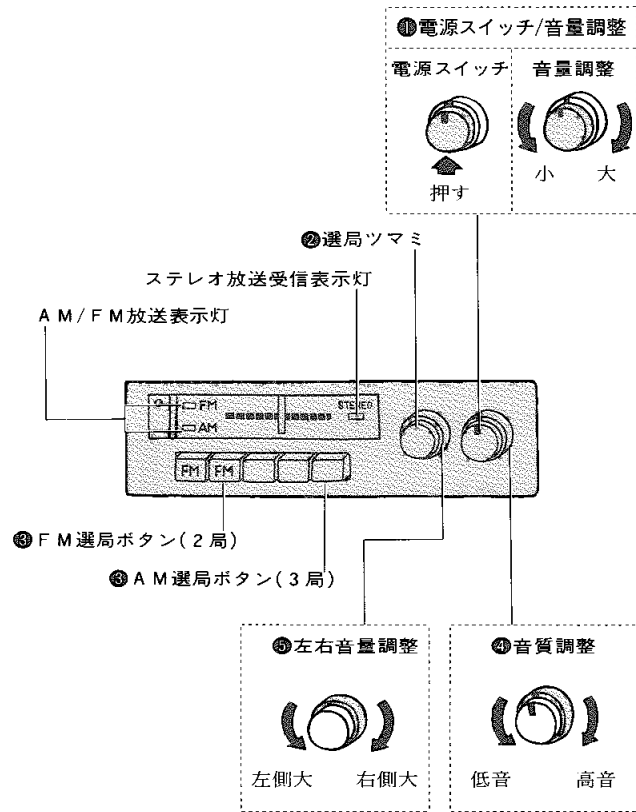


4. 以上の操作により、選局指針がどの位置にあっても、選局ボタンを押せば、あらかじめセットした局を受信できます。
5. 他の選局ボタンも同じ要領でそれぞれの局にセットできます。

AM / FM ラジオ



AM / FM マルチ・ラジオ (2 スピーカー)



▶ ラジオ放送を聞くには

1. エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

★ エンジン停止時は、ラジオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

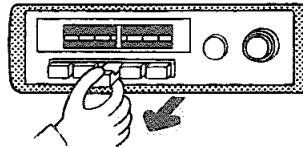
2. 電源スイッチ①を押して電源を入れます。もう一度押すと電源は切れます。
3. 音量調整ツマミ②を回して音量を調整します。
4. AMまたはFM選局ボタン③を押してAMまたはFM放送に切り替えます。
5. 選局ツマミ④を回して希望の局を選びます。
6. 選局ボタン⑤をあらかじめセットしておけば、ボタンを押すだけで希望の局がワンタッチで選局できます。(＜選局ボタンのセット＞を参照してください。)
7. 次の調整ツマミについては好みに応じて調整してください。

● 音質調整④

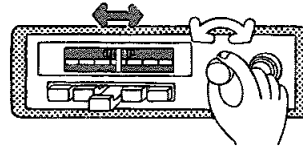
● 左右音量調整⑤

＜選局ボタンのセット＞

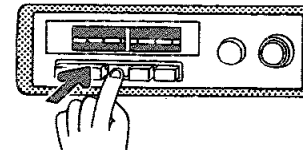
1. 選局ボタンの1つを、いっぱい引き出します。



2. 選局ツマミで、選局指針を希望の局に合わせます。

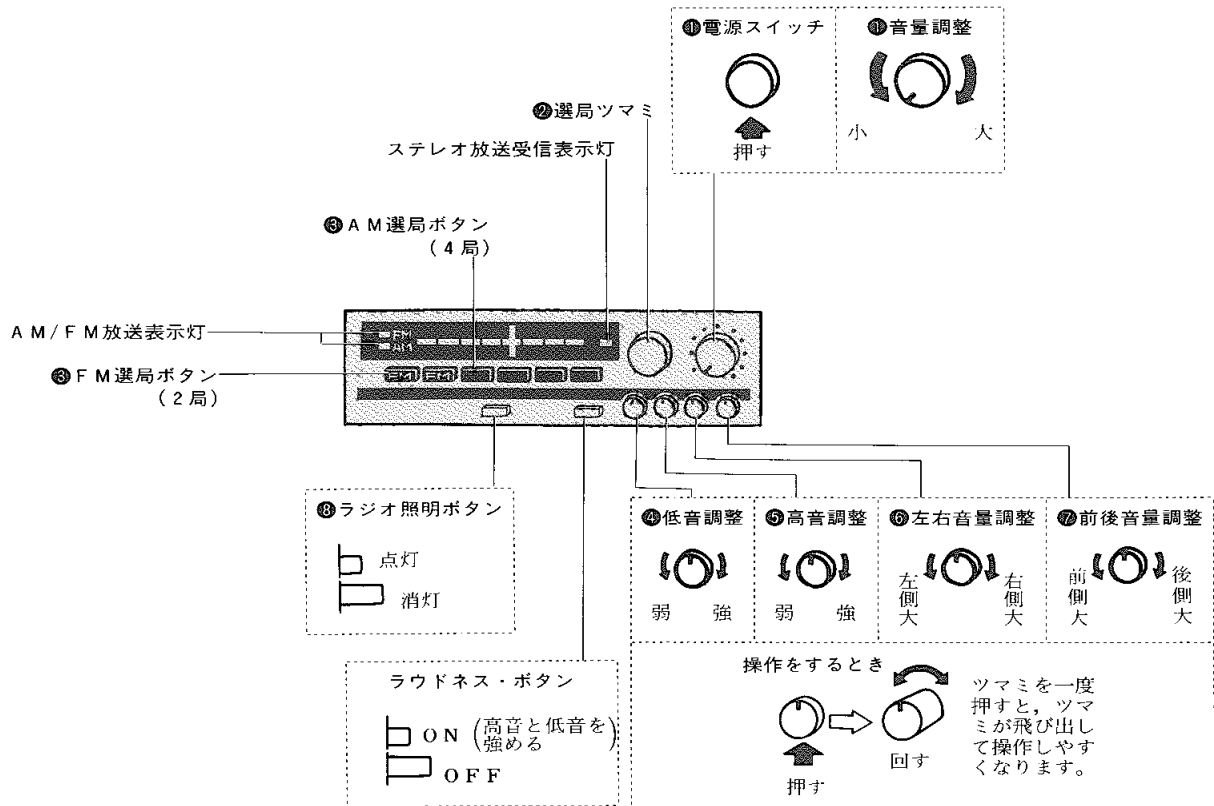


3. 引き出した選局ボタンを、いっばいに押し込みます。



4. 以上の操作により、選局指針がどの位置にあっても、選局ボタンを押せば、あらかじめセットした局を受信できます。
5. 他の選局ボタンも同じ要領でそれぞれの局にセットできます。

AM/FMマルチ・ラジオ(4スピーカー)



▶ラジオ放送を聞くには

1. エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

★エンジン停止時は、ラジオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

2. 電源スイッチ①を押して電源を入れます。もう一度押すと電源は切れます。
3. 音量調整ツマミ④を回して音量を調整します。
4. AMまたはFM選局ボタン⑤を押してAMまたはFM放送に切り替えます。
5. 選局ツマミ②を回して希望の局を選びます。
6. 選局ボタン③をあらかじめセットしておけば、ボタンを押すだけで希望の局がワンタッチで選局できます。(〈選局ボタンのセット〉を参照してください。)

7. 次の調整ツマミについては好みに応じて調整してください。

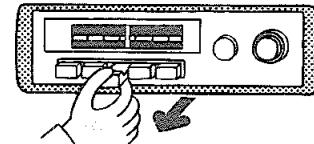
- 低音調整⑥
- 高音調整⑦
- 左右音量調整⑧
- 前後音量調整⑨

〈ラジオ照明〉

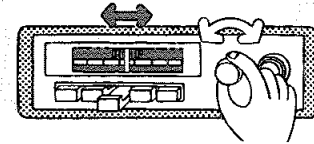
1. ライト・スイッチがONのとき、ラジオ照明ボタン⑩を押すとラジオの照明が点灯し、もう一度押すと消灯します。

〈選局ボタンのセット〉

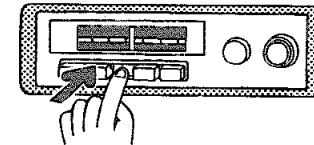
1. 選局ボタンの1つを、いっばいに引き出します。



2. 選局ツマミで、選局指針を希望の局に合わせます。

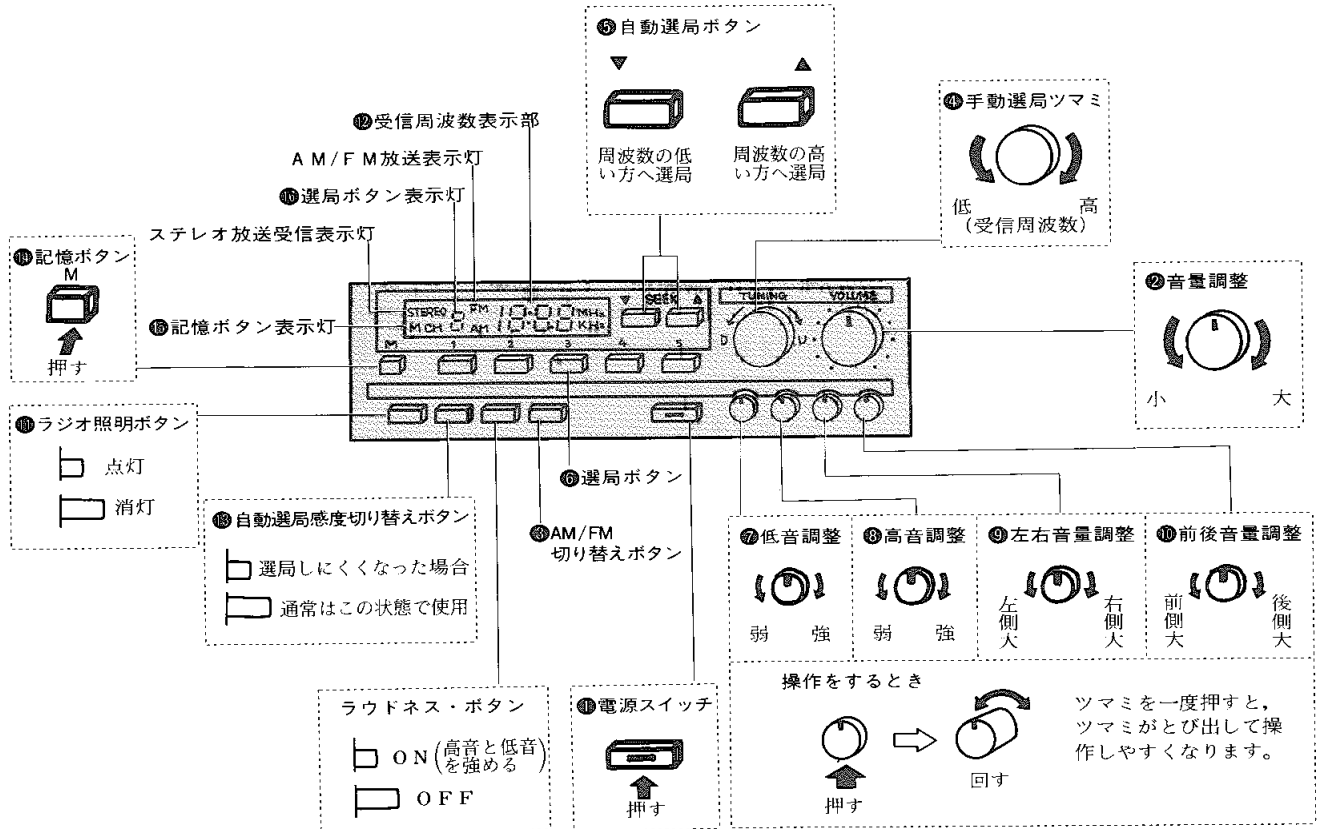


3. 引き出した選局ボタンを、いっばいに押し込みます。



4. 以上の操作により、選局指針がどの位置にあっても、選局ボタンを押せば、あらかじめセットした局を受信できます。
5. 他の選局ボタンも同じ要領でそれぞれの局にセットできます。

AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ



▶ラジオ放送を聞くには

1. エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

★エンジン停止時は、ラジオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

2. 電源スイッチ⑪を押して電源を入れます。もう一度押すと電源は切れます。
3. 音量調整ツマミ⑫を回して音量を調整します。
4. AM/FM切り替えボタン⑬を押してAMまたはFM放送に切り替えます。
5. 手動選局ツマミ⑭、自動選局ボタン⑮(＜自動選局のしかた＞を参照してください)、選局ボタン⑯(100ページの＜選局ボタンのセット＞を参照してください。)の操作で希望の局を選びます。

6. 次の調整ツマミについては好みに応じて調整してください。

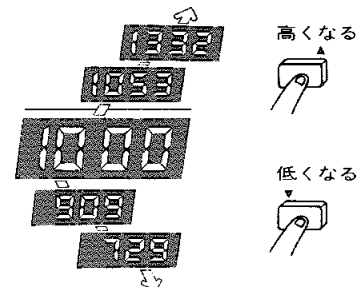
- 低音調整⑰
- 高音調整⑱
- 左右音量調整⑲
- 前後音量調整⑳

＜ラジオ照明＞

1. ライト・スイッチがONのとき、ラジオ照明ボタン㉑を押すとラジオの照明が点灯し、もう一度押すと消灯します。

＜自動選局のしかた＞

1. 自動選局ボタン⑮の▲側を押すと周波数が高くなり、▼側を押すと周波数が低くなり、受信するとその位置で止まります。



2. このとき受信周波数表示部⑫に、そのときどきの周波数が表示されます。
3. ビルの谷間などで受信電波が弱く選局しにくくなったときは、自動選局感度切り替えボタン㉒を押してください。
4. 受信感度切り替えボタンを押しても選局しないときは、手動選局ツマミ⑭で選局してください。

〈選局ボタンのセット〉

1. 手動選局ツマミ④または自動選局ボタン⑤で記憶させたい放送局の周波数に合わせます。

2. 記憶ボタン⑥を押します。

3. 選局ボタン⑦を押します。

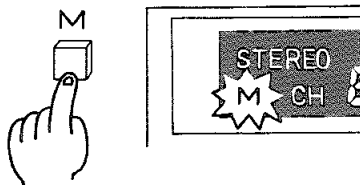
以上の操作で選局ボタンに放送局を記憶させることができます。なお、選局ボタン1つに記憶させることができる放送局は、AM、FM各1局ずつです。

{例：選局ボタン2にNHK-FM(東京) 82.5MHzを記憶させる場合}

1. AM/FM切り替えボタン⑧でFMにします。

2. 手動選局ツマミまたは自動選局ボタンで受信周波数(82.5MHz)に合わせます。

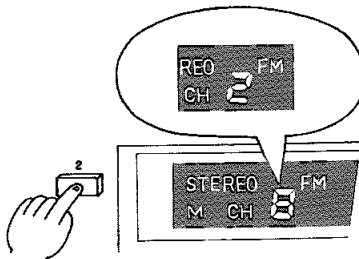
3. 記憶ボタンを押します。
同時に記憶ボタン表示灯⑨が点灯します。



数がわかっている場合は、手動選局ツマミでセットしておくことができます。

★車両の整備，ラジオの取りはずしなどによって，バッテリーとの接続が断たれた場合，選局ボタンの記憶は消去されます。もう一度選局ボタンに記憶しなおしてください。

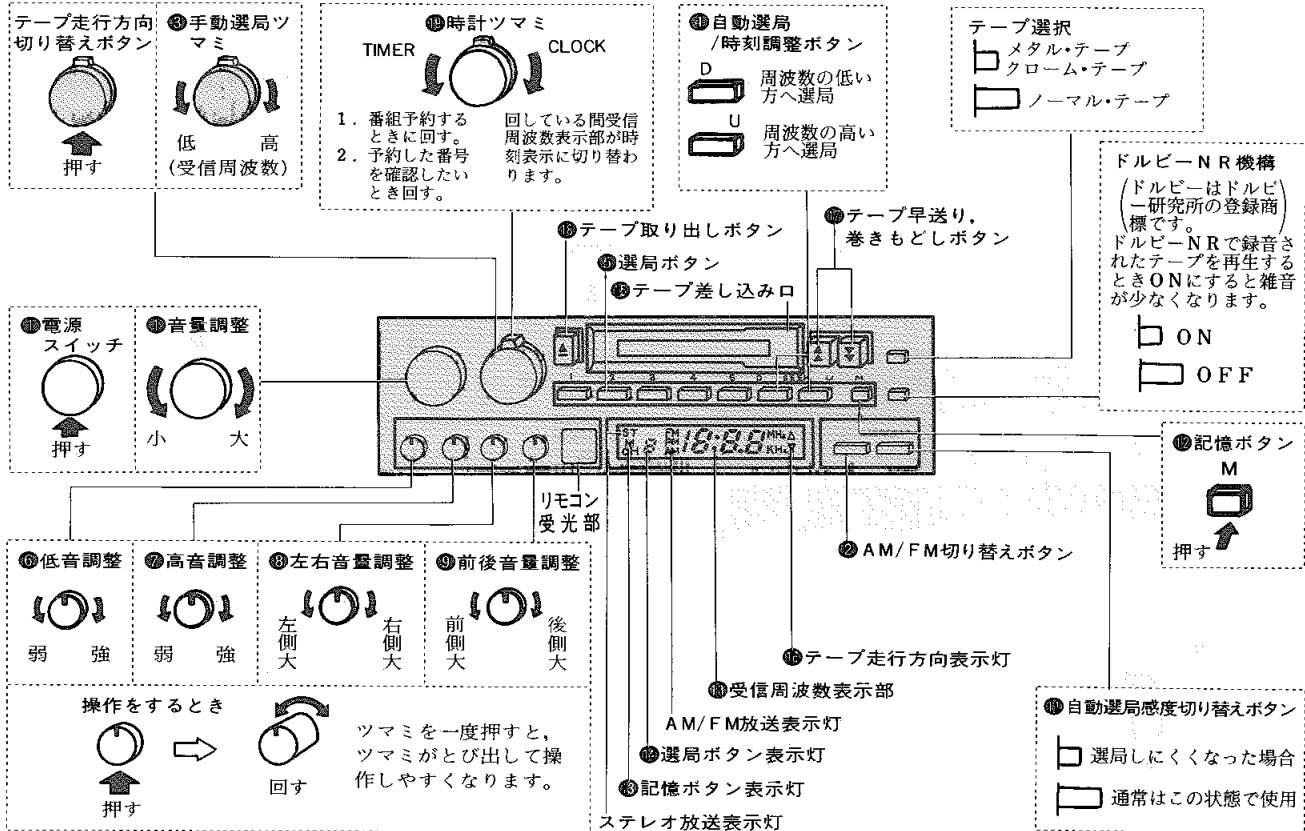
4. 選局ボタンの2を押します。
同時に選局ボタン表示灯⑩がCH2を表示します。



5. 以上の操作で選局ボタンの2にNHK-FM(東京)が記憶できます。

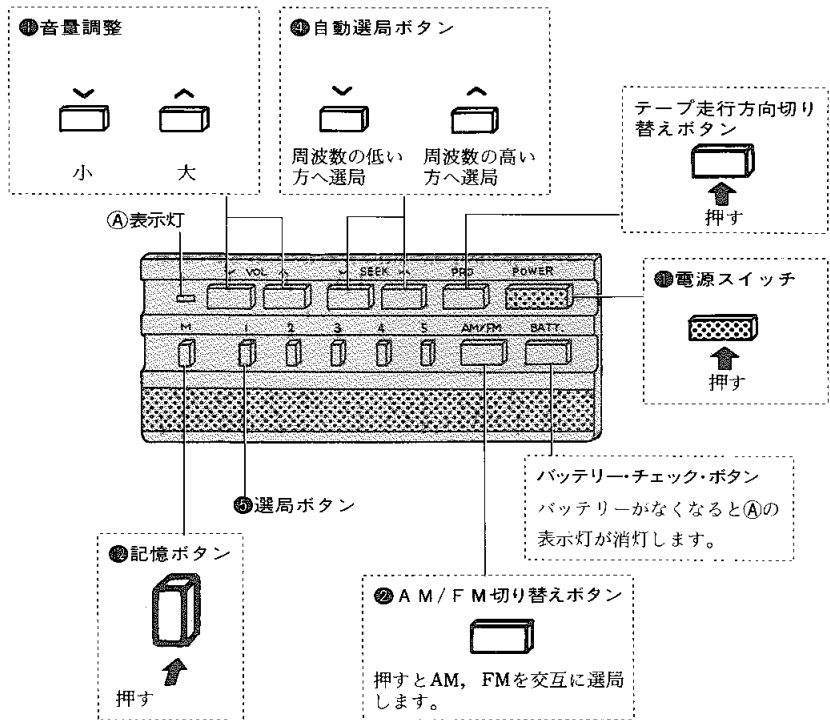
6. あらかじめ目的地の放送局の周波

カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオ(番組予約機構付き)



ワイヤレス・リモート・コントロール・スイッチ

カセット一体AM/FMマルチ電子サーチ式ラジオには専用のワイヤレス・リモート・コントロール・スイッチが装備されます。後席などはなれた席からラジオ、ステレオの操作をすることができます。



▶ ラジオ放送を聞くには

1. エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

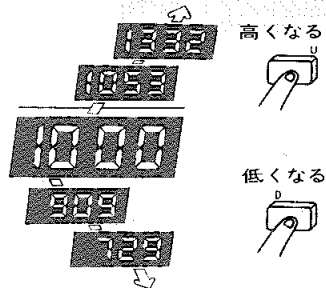
★ エンジン停止時は、ラジオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

2. 電源スイッチ②を押して電源を入れます。もう一度押すと電源は切れます。
3. 音量調整ツマミ①を回して(リモコン・スイッチはボタンを押す)音量を調整します。
4. AM/FM切り替えボタン②を押してAMまたはFM放送に切り替えます。
5. 手動選局ツマミ⑤, 自動選局ボタン④ (103ページの〈自動選局のしかた〉を参照してください), 選局ボタン⑤ (103ページの〈選局ボタンのセット〉を参照してください)の操作で希望の局を選びます。
6. 次の調整ツマミについては好みに応じて調整してください。

- 低音調整⑥
- 高音調整⑦
- 左右音量調整⑧
- 前後音量調整⑨

＜自動選局のしかた＞

1. 自動選局ボタン④のU側（リモコン・スイッチはへ側）を押すと周波数が高くなり、D側を押すと周波数が低くなり、受信するとその位置で止まります。



2. このとき受信周波数表示部⑩に、そのときどきの周波数が表示されます。
3. ビルの谷間などで受信電波が弱く

選局しにくくなったときは、自動選局感度切り替えボタン⑪を押してください。

4. 自動選局感度切り替えボタンを押しても選局しないときは、手動選局ツマミ⑫で選局してください。

＜選局ボタンのセット＞

1. 手動選局ツマミ⑫または自動選局ボタン④で記憶させたい放送局の周波数に合わせます。

2. 記憶ボタン⑬を押します。
3. 選局ボタン⑮を押します。

以上の操作で選局ボタンに放送局を記憶させることができます。なお、選局ボタン1つに記憶させることができる放送局は、AM、FM各1局ずつです。

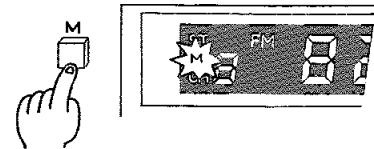
〔例：選局ボタン2にNHK—FM(東京) 82.5MHzを記憶させる場合〕

1. AM/FM切り替えボタン②でFMにします。
2. 手動選局ツマミまたは自動選局ボ

タンで受信周波数（82.5MHz）に合わせます。

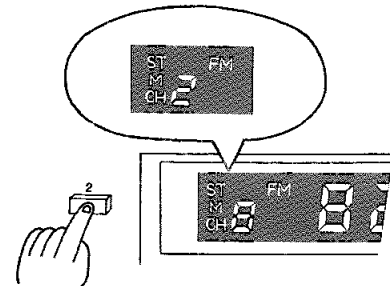
3. 記憶ボタンを押します。

同時に記憶ボタン表示灯⑭が点灯します。



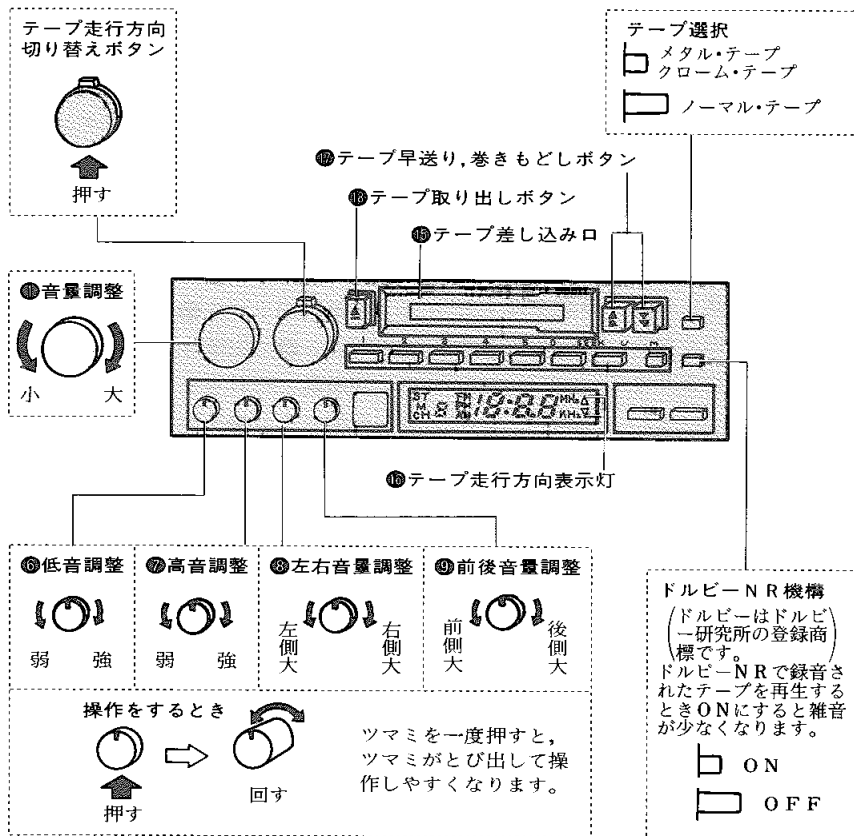
4. 選局ボタンの2を押します。

同時に選局ボタン表示灯⑮がCH2を表示します。



5. 以上の操作で選局ボタンの2にNHK-FM(東京)が記憶できます。
6. あらかじめ目的地の放送局の周波数がわかっている場合は、手動選局つまみでセットしておくことができます。

★車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、選局ボタンの記憶は消去されます。もう一度選局ボタンに記憶しなおしてください。



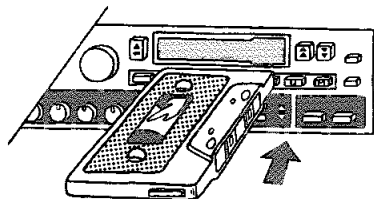
▶テープを聞くには

1. エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

★エンジン停止時は、カセット・ステレオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

2. ラジオの電源スイッチがOFFでも使用することができます。

3. テープ差し込み口⑬にテープを差し込みます。



4. 音量調整ツマミ⑭を回して音量を調整します。

5. 次の調整ツマミについては好みに応じて調整してください。

- 低音調整⑮
- 高音調整⑯
- 左右音量調整⑰
- 前後音量調整⑱

▶早送り、巻きもどしをするには

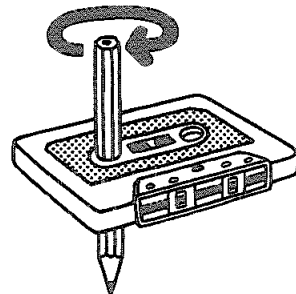
1. テープ走行方向表示灯⑲と同じ向き of テープ早送り、巻きもどしボタン⑳を押すと早送り、逆方向のボタンを押すと巻きもどしになります。
2. 早送り、巻きもどしを解除して通常の再生をするときは、押し込まれていない側のボタンを軽く押ししてください。

▶テープを取り出すには

1. テープ取り出しボタン㉑を奥まで押し込むとテープが手前に押し出されます。

★テープはケースに入れ、直射日光やほこりをさけて保存してください。

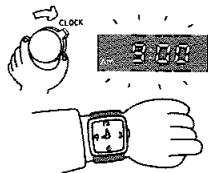
★テープは、鉛筆などで軽く外側に回して、たるみを取ってからそう入してください。



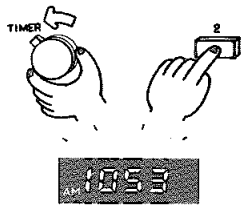
▶ 番組予約をするには

選局ボタンに記憶されている放送局に限りAM、FMを問わず2局まで、お聴きになりたい番組を予約することができます。

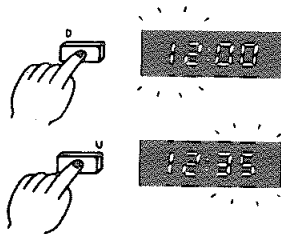
1. 電源スイッチをONにします。
2. 時計ツマミ⑩をCLOCK側へ回し、ラジオの時刻が正確な時刻かを確認します。



3. 時計ツマミをTIMER側へ回してから選局ボタン⑤で希望の放送局を選局します。(103ページの〈選局ボタンのセット〉を参照してください。)



4. そのまま時刻調整ボタン④のD側(“時”調整)およびU側(“分”調整)を押して希望の時間にセットします。



★時計ツマミをTIMER側へ回してから5秒以内にセットを開始してください。

4. 記憶ボタン⑫を押せば番組予約が完了します。
5. 予約番組の放送時刻になると、下記のようになります。
 - 他の放送を聞いているときは、自動的に予約番組に切り替わります。
 - テープ演奏中は約5秒間アラーム(ピッピッという電子音)が鳴ります。
 - エンジン・スイッチがACCまたはONであれば、ラジオの電源スイッチがOFFでも電源がはいり、放送が開始されます。

▶ 予約した番組の確認をするには

1. 時計ツマミ⑬をTIMER側へ回すと約5秒間予約内容のどちらかが表示されます。
2. 再度TIMER側へ回すと先に表示された予約内容に続きもう一方の内容が表示されます。

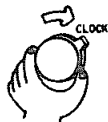
▶ 予約番組の解除をするには

1. 時計ツマミ⑬をTIMER側へ回して解除したい予約内容を表示させてから、5秒以内に記憶ボタン⑭を押します。

★予約した番組は解除しない限り、エンジン・スイッチがACCまたはONであれば予約時刻になると放送が開始されます。

▶ 内蔵時計のセットのしかた

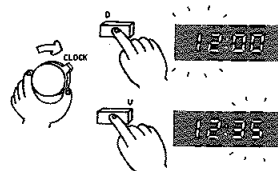
1. 時計ツマミ⑬をCLOCK側へ回している間、受信周波数表示部⑪が時計表示に切り替わります。



2. 時計は12時間表示となっており、AMは午前、PMは午後を表わします。

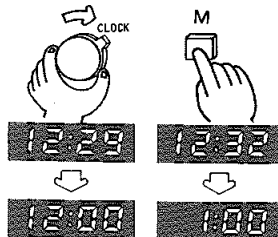
＜時計の時刻調整＞

1. 時計ツマミをCLOCK側へ回したまま時刻調整ボタン⑬のD側を押すと“時”調整、U側を押すと“分”調整ができます。

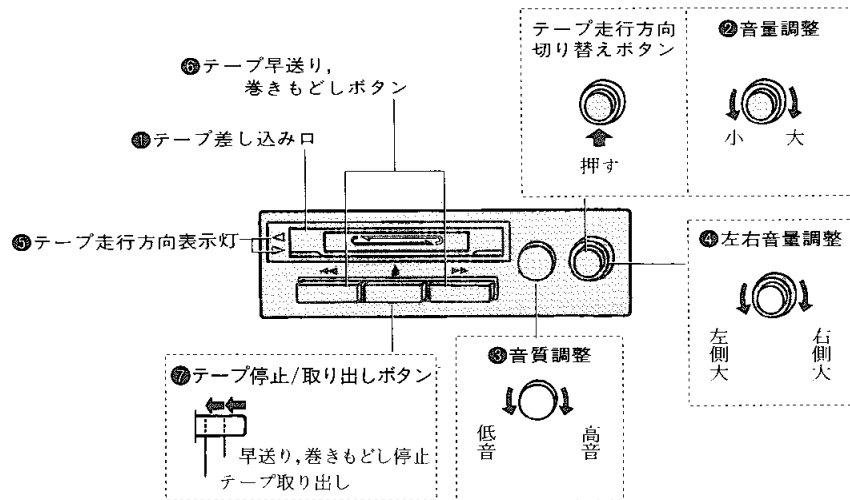


＜時報に合わせるとき＞

1. 時計ツマミをCLOCK側へ回したまま記憶ボタン⑭を押します。
表示は0～29分の場合は切り下げ、30～59分の場合は切り上げとなります。
2. 時計は記憶ボタンをはなした時点から作動を始めます。
3. 番組を予約するときに、正確な時刻に合わせてないと、予約した番組をお聴きになることができません。
午前 (AM)、午後 (PM) を間違えないよう時刻を合わせてください。



カセット・ステレオ(2アンブ)



▶ テープを聞くには

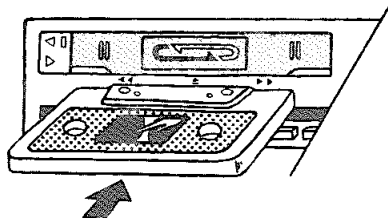
1. エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

★エンジン停止時は、カセット・ステレオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

2. ラジオの電源スイッチがOFFでも

使用することができます。

3. テープ差し込み口①にテープを差し込みます。



4. 音量調整ツマミ⑤を回して音量を調整します。

5. 音質調整⑥, 左右音量調整④のツマミは好みに応じて調整してください。

▶ 早送り, 巻きもどしをするには

1. テープ走行方向表示灯③と同じ向き
のテープ早送り, 巻きもどしボ
タン②を押すと早送り, 逆方向の
ボタンを押すと巻きもどしになり
ます。

2. 早送り, 巻きもどしを解除して通
常の再生をするときは, テープ停
止/取り出しボタン⑦を軽く押し
てください。

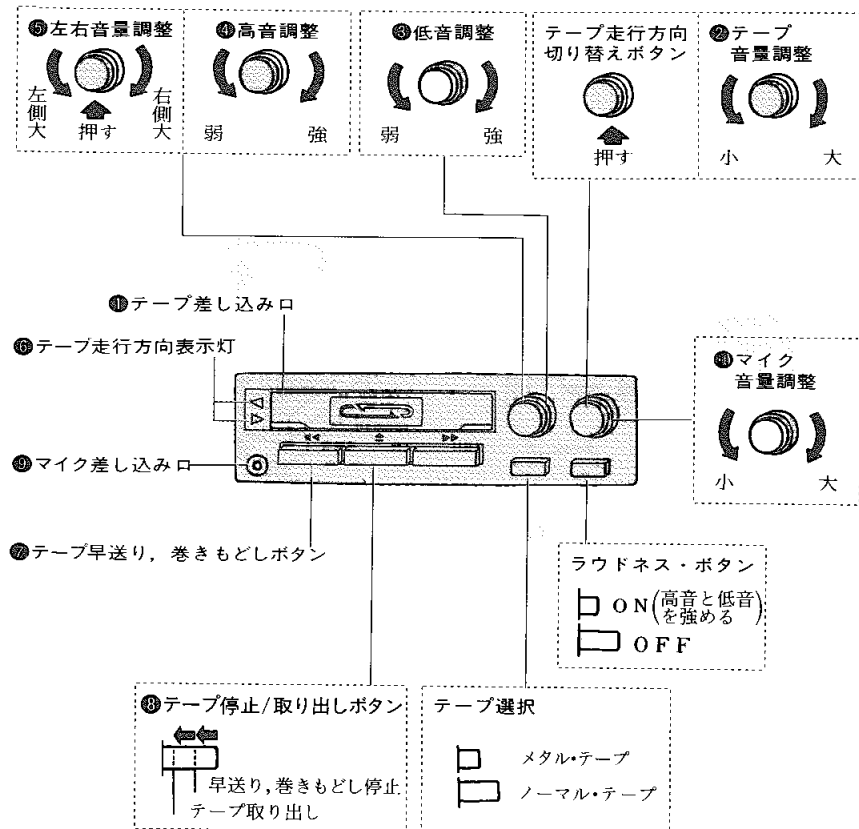
▶ テープを取り出すには

1. テープ停止/取り出しボタン⑦を
奥まで押し込むとテープが手前に
押し出されます。

★テープはケースに入れ, 直射日光や
ほこりをさけて保存してください。

★テープは, 鉛筆などで軽く外側に回
して, たるみを取ってからそう入し
てください。

カセット・ステレオ(2アンプ、マイク・ジャック付き)



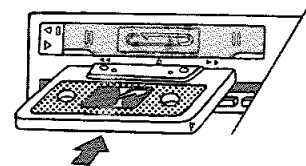
▶テープを聞くには

1. エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

★エンジン停止時は、カセット・ステレオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

2. ラジオの電源スイッチがOFFでも使用することができます。

3. テープ差し込み口⑨にテープを差し込みます。



4. テープ音量調整ツマミ⑧を回して音量を調整します。

5. 次の調整ツマミについては好みに応じて調整してください。

- 低音調整⑦
- 高音調整⑥
- 左右音量調整⑤

▶早送り、巻きもどしをするには

1. テープの走行方向表示灯⑥と同じ向きのテープ早送り、巻きもどしボタン⑦を押すと早送り、逆方向のボタンを押すと巻きもどしになります。
2. 早送り、巻きもどしを解除して通常の再生をするときは、テープ停止／取り出しボタン⑧を軽く押してください。

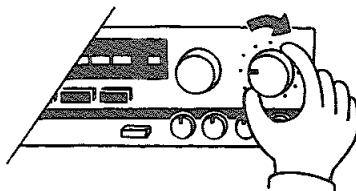
▶テープを取り出すには

1. テープ取り出しボタン⑧を奥まで押し込むとテープが手前に押し出されます。

▶マイク・ミキシング(カラオケ)

テープ再生時に、マイクを差し込めばテープの再生音にマイク音声を重ねることができます。

1. ラジオの音量調整ツマミを少しだけ回し、テープを再生します。
(109ページの▶テープを聞くにはを参照してください)

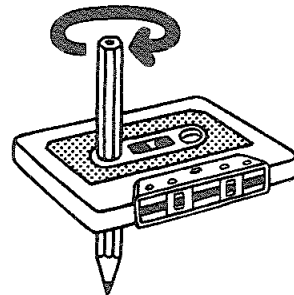


2. マイクをマイク差し込み口⑨に差し込み、マイクに付いているスイッチをONにします。
3. テープ音量調整ツマミ②でテープの音量、マイク音量調整ツマミ⑩でマイク音量を調整します。

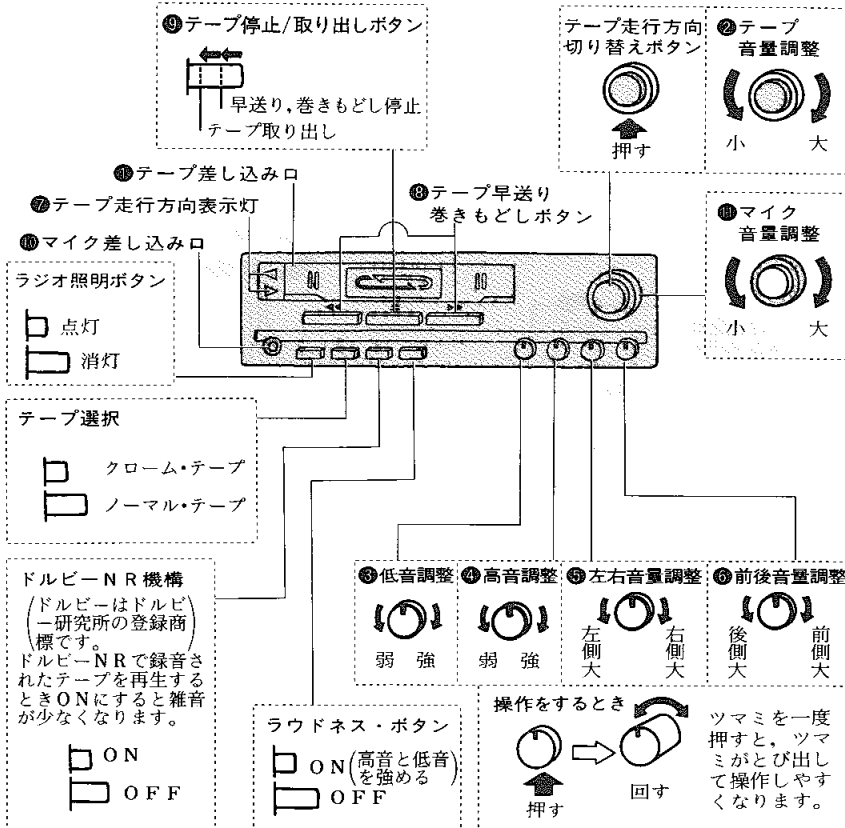
★マイク・ミキシング中にスピーカーからピー音（ハウリング）が聞こえる場合は、マイクまたはテープの音

量をしばってください。

- ★テープはケースに入れ、直射日光やほこりをさけて保存してください。
- ★テープは、鉛筆などで軽く外側に回して、たるみを取ってからそう入してください。

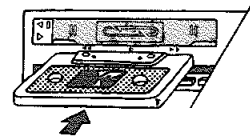


カセット・ステレオ(4アンプ、マイク・ジャック付き)



▶テープを聞くには

1. エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。
★エンジン停止時は、カセット・ステレオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
2. ラジオの電源スイッチがOFFでも使用することができます。
3. テープ差し込み口⑬にテープを差し込みます。



4. テープ音量調整ツマミ②を回して音量を調整します。
5. 次の調整ツマミについては好みに応じて調整してください。

- 低音調整⑤
- 高音調整⑥
- 左右音量調整⑦
- 前後音量調整⑧

操作をするとき
ツマミを一度押すと、ツマミがとび出して操作しやすくなります。
押す → 回す

▶ 早送り、巻きもどしをするには

1. テープ走行方向表示灯⑦と同じ向きのテープ早送り、巻きもどしボタン⑧を押すと早送り、逆方向のボタンを押すと巻きもどしになります。
2. 早送り、巻きもどしを解除して通常の再生にするときは、テープ停止/取り出しボタン⑨を軽く押してください。

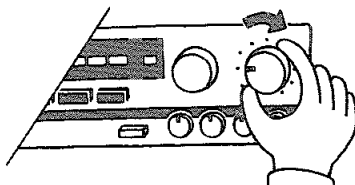
▶ テープを取り出すには

1. テープ取り出しボタン⑨を奥まで押し込むとテープが手前に押し出されます。

▶ マイク・ミキシング(カラオケ)

テープ再生時に、マイクを差し込めばテープの再生音にマイク音声を重ねることができます。

1. ラジオの音量調整つまみを少しだけ回し、テープを再生します。
(111ページの▶テープを聞くにはを参照してください。)

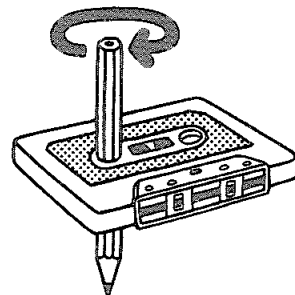


2. マイクをマイク差し込み口⑩に差し込み、マイクに付いているスイッチをONにします。
3. テープ音量調整つまみ⑫でテープの音量、マイク音量調整つまみ⑪でマイク音量を調整します。

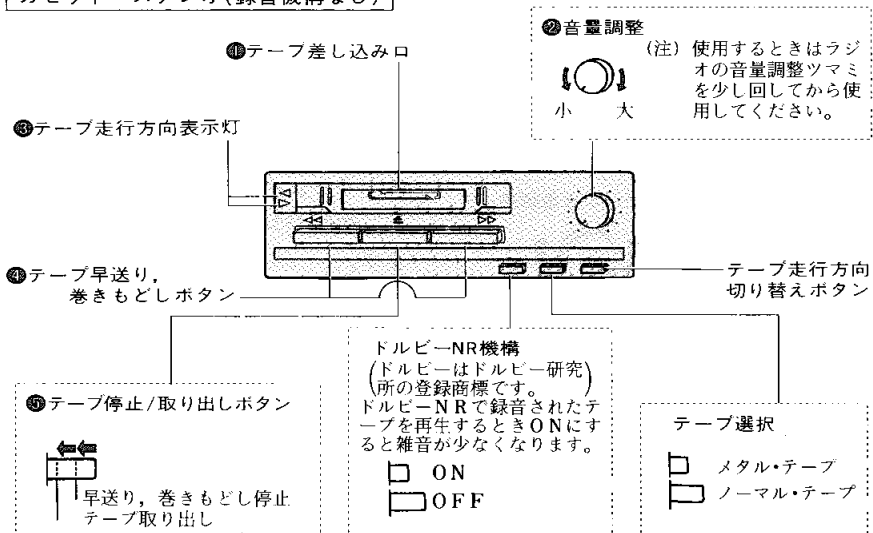
★マイク・ミキシング中にスピーカーからピー音(ハウリング)が聞こえる場合は、マイクまたはテープの音

量をしばらくしてください

- ★テープはケースに入れ、直射日光やほこりをさけて保存してください。
- ★テープは、鉛筆などで軽く外側に回して、たるみを取ってからそう入してください。



カセット・ステレオ(録音機構なし)



4. 音量調整つまみ②を回して音量を調整します。
5. 音質調整, 前後, 左右音量調整はラジオのつまみで行ないます。

▶早送り, 巻きもどしをするには

1. テープ走行方向表示灯③と同じ向き
のテープ早送り, 巻きもどしボ
タン④を押すと早送り, 逆方向の
ボタンを押すと巻きもどしになり
ます。
2. 早送り, 巻きもどしを解除して通
常の再生をするときは, テープ停
止/取り出しボタン⑤を軽く押し
てください。

▶テープを取り出すには

1. テープ停止/取り出しボタン⑤を
奥まで押し込むとテープが手前
に押し出されます。

★テープはケースに入れ, 直射日光や
ほこりをさけて保存してください。

★テープは, 鉛筆などで軽く外側に回
して, たるみを取ってからそう入
してください。

▶テープを聞くには

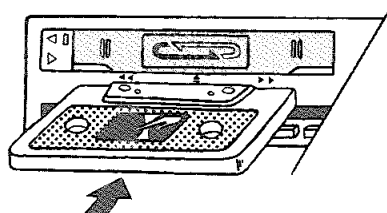
1. エンジン・スイッチをONまたは
ACCの位置にします。

★エンジン停止時は, カセット・ステ
レオを長時間つけたままにしないで
ください。バッテリーあがりを起こ
し, エンジンの始動ができなくなり
ます。

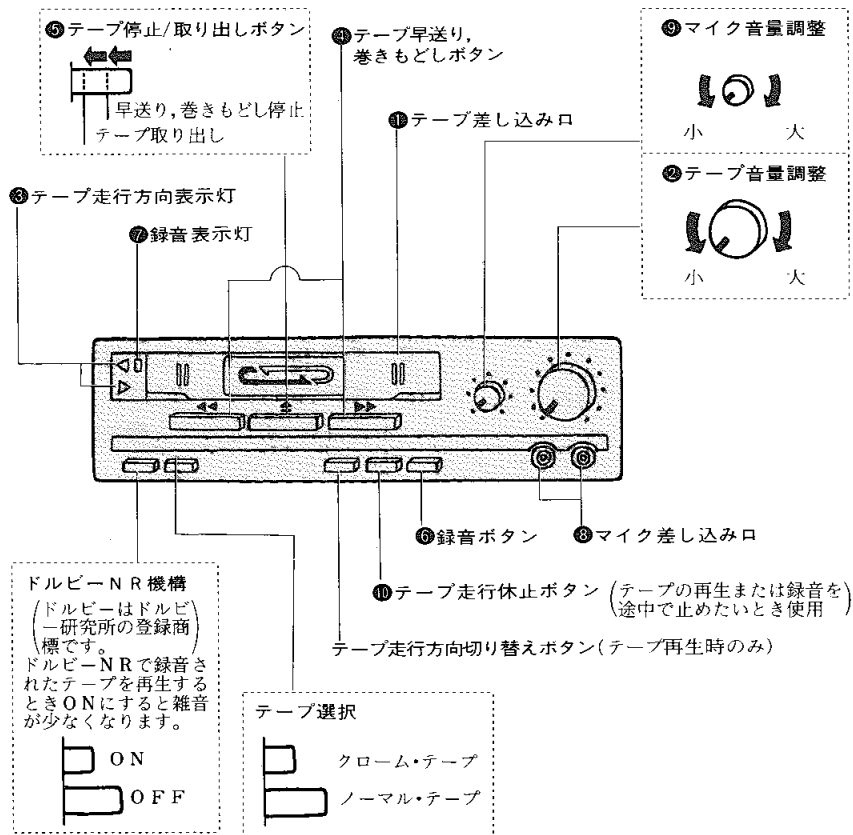
2. ラジオの電源スイッチがOFFでも

使用することができます。

3. テープ差し込み口①にテープを差
し込みます。



カセット・ステレオ(録音機構付き)

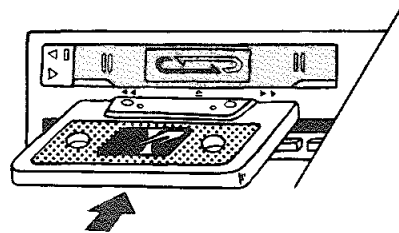


▶ テープを聞くには

1. エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。

★エンジン停止時は、カセット・ステレオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

2. ラジオの電源スイッチがOFFでも使用することができます。
3. テープ差し込み口③にテープを差し込みます。



4. テープ音量調整ツマミ②を回して音量を調整します。
5. 音質調整, 前後, 左右音量調整はラジオのツマミで行ないます。

▶早送り、巻きもどしをするには

1. テープ走行方向表示灯③と同じ向き
のテープ早送り、巻きもどしボ
タン④を押すと早送り、逆方向の
ボタンを押すと巻きもどしになり
ます。
2. 早送り、巻きもどしを解除して通
常の再生にするときは、テープ停
止／取り出しボタン⑤を軽く押し
てください。

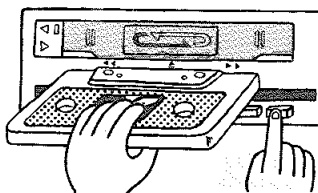
▶テープを取り出すには

1. テープ停止／取り出しボタン⑤を
奥まで押し込むとテープが手前に
押し出されます。
- ★テープを取り出す際、ラジオの電源
スイッチがONの状態ではラジオ音量
調整ツマミが大のままになっていま
すと急に大きな音量となります。ラ
ジオ音量調整ツマミを調整して下
さい。

▶録音をするには

＜ラジオ放送を録音するとき＞

1. 録音ボタン⑥を押したまま、録音
したい面を上側にしてテープを差
し込みます。

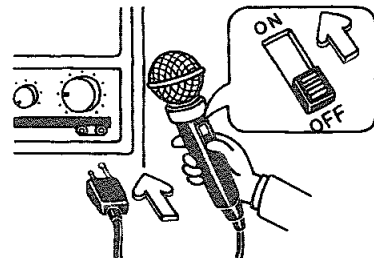


2. 録音表示灯⑦、テープ走行方向表
示灯③が点灯し、録音が始まら
れます。
3. 録音は、ラジオの各音量調整ツマ
ミに関係なく、自動的に一定レベ
ルで調整されます。
4. 録音中にテープ片面が終了すると
テープは停止し、テープ走行方向
表示灯の反対方向が点灯します。
録音を続けたいときは、テープ取
り出しボタン⑤を押し込んでテー
プを取り出し、反対にして1の操
作を繰り返してください。

5. 録音を途中で解除したい場合は、
テープ取り出しボタンを押し込ん
でテープを取り出してください。

＜マイク音声を録音するとき＞

1. マイクをマイク差し込み口⑧に差
し込みます。リモ・コン付きマイク
はマイク・ジャックを左右間違え
ないように（径の太い方を右側）に
差し込みます。マイクには録音を
一時停止することができるスイッ
チがついています。



2. 録音ボタンを押したまま、録音し
たい面を上側にしてテープを差し
込みます。
録音中のテープの取り扱いはず

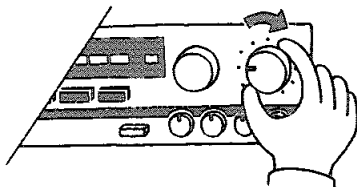
オ録音の場合と同じです。

3. 録音は、マイク音量調整ツマミ⑨およびテープ音量調整ツマミ②に関係なく、自動的に一定レベルで調整されます。なお、録音中のマイク音声を確認するときは、マイク音量調整ツマミで行なってください。
4. テープ再生時および録音中にテープを一時停止したいときは、テープ走行休止ボタン⑩を押してください。

▶マイク・ミキシング(カラオケ)

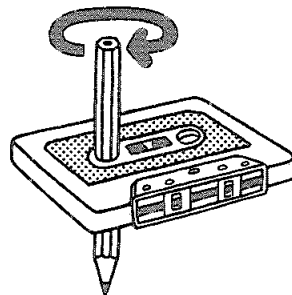
テープ再生時に、マイクを差し込めばテープの再生音にマイク音声を重ねることができます。

1. ラジオの音量調整ツマミを少しだけ回し、テープを再生します。
(114ページの▶テープを聞くにはを参照してください。)



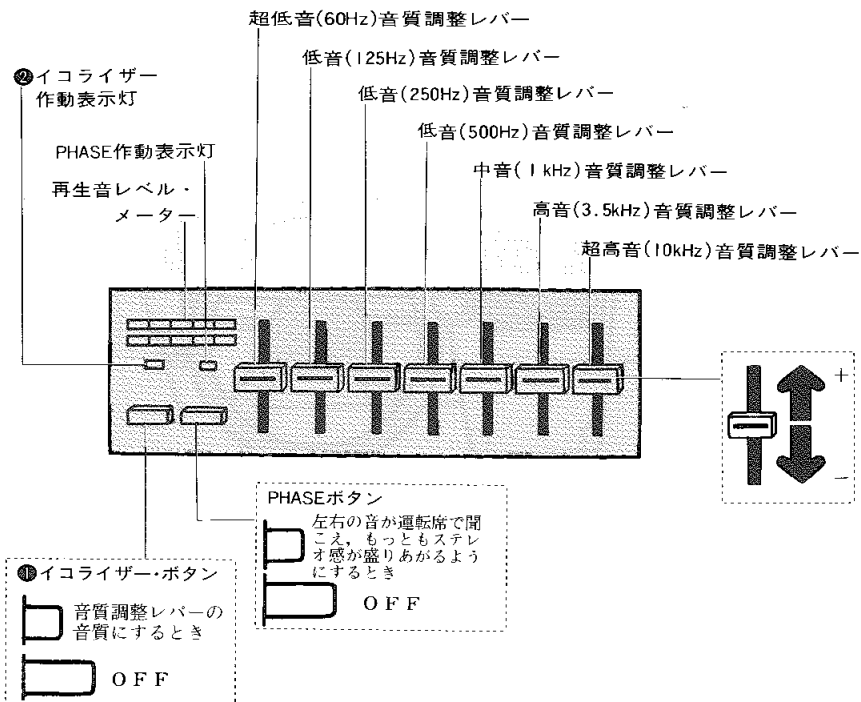
2. マイクをマイク差し込み口⑧に差し込みます。
3. テープ音量調整ツマミ②でテープの音量、マイク音量調整ツマミ⑨でマイク音量を調整します。
4. テープ再生時に、マイク音声だけを聞きたい場合はマイクについているスイッチをOFFにするか、カセット・ステレオのテープ走行休止ボタン⑩を押します。

- ★マイク・ミキシング中にスピーカーからビー音(ハウリング)が聞こえる場合は、マイクまたはテープの音量をしばらく下げてください
- ★録音は、常に差し込まれたテープの上側のプログラムに録音されます。
- ★テープはケースに入れ、直射日光やほこりをさけて保存してください。
- ★テープは、鉛筆などで軽く外側に回して、たるみを取ってからそう入してください。



グラフィック・イコライザー *

再生音を7段階の周波数帯に分割し、超低音(60Hz)から超高音(10kHz)まできめ細かく高質調整ができます。



〈音質調整〉

1. イコライザー・ボタン①を押し、ONの状態にすると音質調整レバーで各レバーの受け持っている周波数帯の音質を調整することができます。

(例：超低音(60Hz)の音質を調整する場合)

1. イコライザー・ボタンを押すと、イコライザー作動表示灯②が点灯しONの状態になります。
2. 音質調整レバーを+側にすると超低音が強調され、-側にすると弱められます。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

ヒーター, エア・コンディ ショナーの 使い方

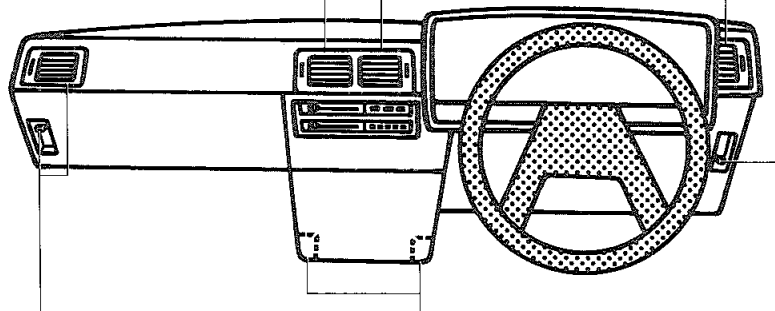
❶ 吹き出し口

▶ 中央

ツマミを動かして風向きを調整します。

▶ 右側

1. ツマミを動かして風向きを調整します。
2. 吹き出し口をとじるときは開閉レバーを図の位置にします。



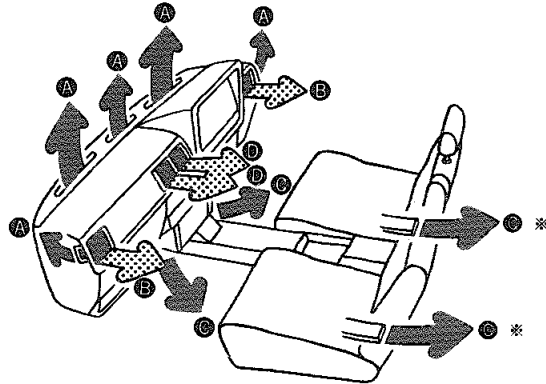
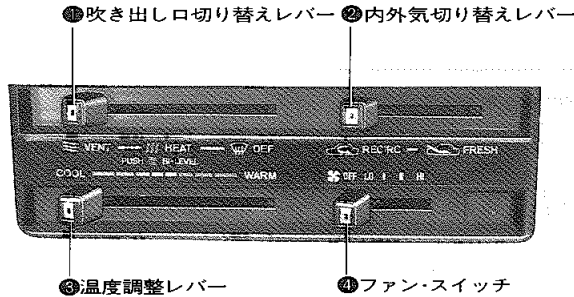
▶ 左側

1. ツマミを動かして風向きを調整します。
2. 吹き出し口をとじるときは開閉レバーを図の位置にします。

▶ 足元

暖房時に温風が出ます。

■ ヒーター



※STD, バンのD X車を除く

①吹き出し口切り替えレバー

(各吹き出し口の風量の割合を無段階に調整することができます。)

換気……………上半身, 顔面に温風,
(VENT) 冷風を送ります。



吹き出し口→② ①

頭寒足熱……………レバーがHEAT位置
(BI-LEVEL) のとき押しすと, 頭寒



足熱のここちよい暖房を行ないます。

吹き出し口→② ③
(④から少々)

暖房……………室内暖房(最大暖房)
(HEAT)



吹き出し口→② ③
(④から少々)

曇り取り……………フロント・ガラスお
(DFF) よびドア・ガラスの



曇りを取ります。
吹き出し口→④ ⑤
(⑥から少々)

② 内外気切り替えレバー

内気循環……………内気循環式，急速に (RECIRC)



車内を暖めるとき、
または外気がよごれ
ているときなど一時
的に使用します。

外気導入……………外気導入式に切り替
(FRESH) わります。



③ 温度調整レバー

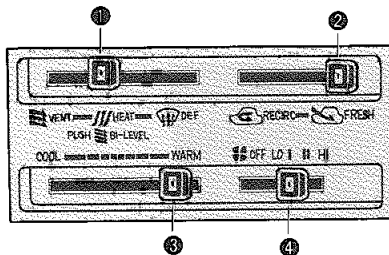
COOL から WARM まで無段階に温
度を調整できます。

④ ファン・スイッチ

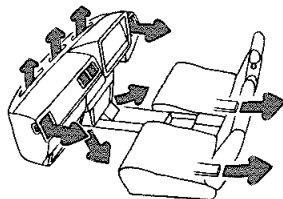
風量を，4 段階に調整できます。

▶ 通常の暖房

<レバーのセット位置>



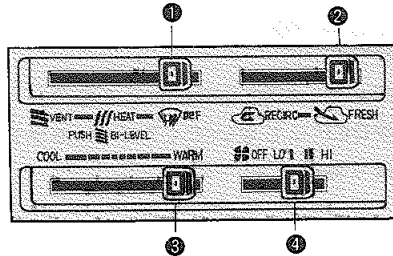
<吹き出し口>



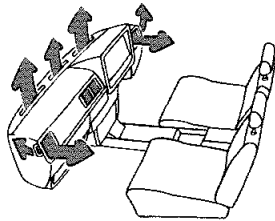
1. 暖かくなってきたら④のスイッチを OFF 側へ，また③のレバーを COOL 側へ移動させてお好みに合った状態に調整します。
2. トンネル内，渋滞などで外気がよごれている場合以外②のレバーは FRESH の位置で使用します。

RECIRC で使用するとガラスが曇りやすくなります。

▶ ガラスの曇りを取るとき
 <レバーのセット位置>



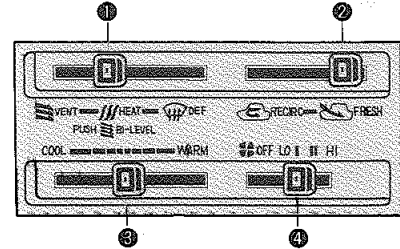
<吹き出し口>



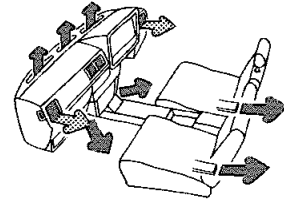
1. ①のレバーをDEFとHEATの中間にすれば曇りを取ると同時に足元も暖められます。
2. 曇りが取れたら①のレバーをHEAT側へ動かします。
3. 夏期の曇り止めには、③のレバーを適度に調整します。

4. ②のレバーをFRESHで使用します。

▶ 頭寒足熱型にしたいとき
 <レバーのセット位置>



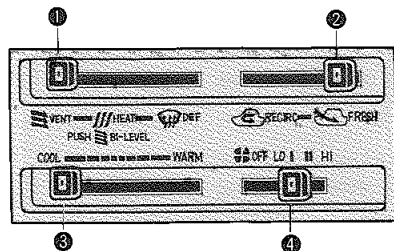
<吹き出し口>



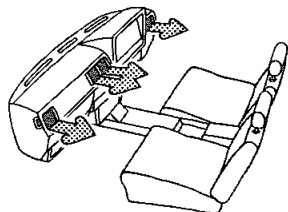
1. ①のレバーをHEATの位置で押し、③のレバーをCOOLとWARMの中間の位置で使用すれば、暖められた風が足元から、比較的温度の低い風が左右吹き出し口から吹き出します。
2. ②のレバーをFRESHにします。

▶換気したいとき（強制換気）

〈レバーのセット位置〉



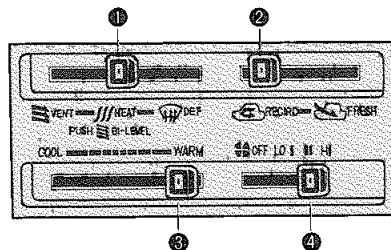
〈吹き出し口〉



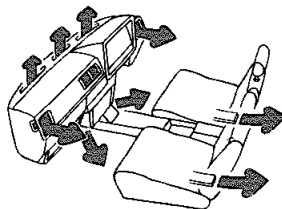
1. 外のさわやかな風が中央および左右吹き出し口から吹き出します。
2. ③のレバーをWARM側へ動かすことにより吹き出し温度を暖かくすることもできます。

▶早く暖房したいとき

〈レバーのセット位置〉



〈吹き出し口〉

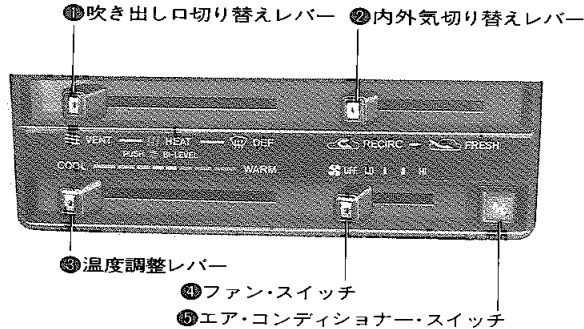


1. 早く暖房したい場合や、外気がよごれている場合に、一時的に②のレバーをRECIRCの位置で使用します。
2. 通常はFRESHの位置にします。



②のレバーがRECIRCのとき③のレバーをDEFにしないでください。ガラスが曇り危険です。

■エア・コンディショナー *



暖房、冷房はもちろん、除湿暖房もできるオール・シーズン・タイプです。暖房操作は、「ヒーター」の項目を参照してください。

この項目では、冷房、除湿操作について説明してあります。

★エア・コンディショナーをクーラーとして使用するときは、ドア・ガラスをしめてください。

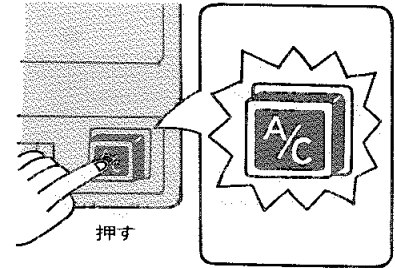
★エア・コンディショナーを長期間使用していると、クーラー・ベルトのゆるみや冷媒ガスの消耗などにより、

冷えが悪くなることがあります。冷えや除湿効果が悪いときは、トヨタ・サービス工場で点検を受けてください。



エア・コンディショナー使用中はアイドリング回転がふだんより少し高目になります。

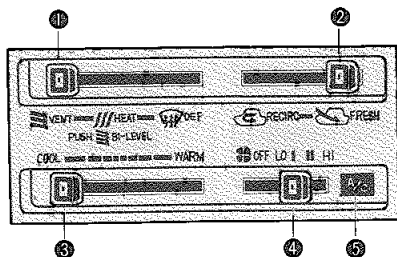
▶エア・コンディショナー・スイッチ



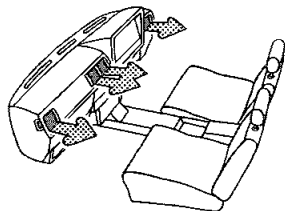
1. ファン・スイッチをONにします。
2. エア・コンディショナー・スイッチを押して、ONにすると作動し作動表示灯が点灯します。
3. もう一度スイッチを押すとOFFになり作動は停止します。

▶ 通常の冷房

〈レバーのセット位置〉



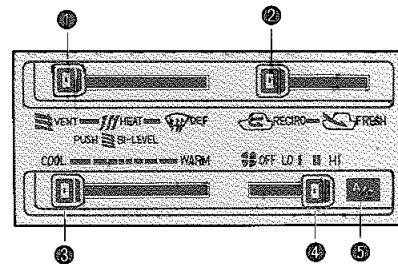
〈吹き出し口〉



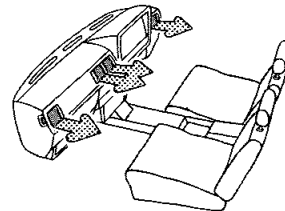
1. ⑤のスイッチをONにします。
2. 室内の換気をし、湿気を取り快適な冷房をします。通常走行中は、この位置で使用します。
3. ③のレバーをCOOLからWARMの間で調節し、快適な温度にします。

▶ 早く冷房したいとき

〈レバーのセット位置〉



〈吹き出し口〉



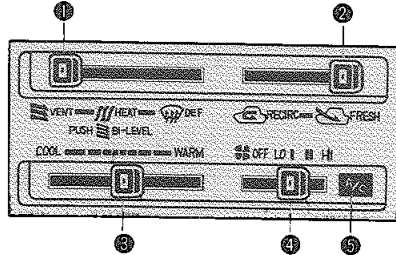
1. ⑤のスイッチをONにします。
2. 直射日光にさらされ室温が非常に高いとき早く室温を下げるには、全ドア・ガラスをあけて換気した後、冷房します。
3. なお、この位置で長時間使用する場合は、換気のためときどき②のレバーをFRESHにします。

■ オート・エア・コンディショナー *

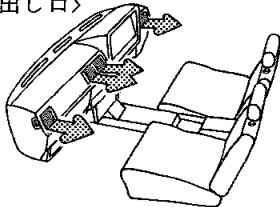
■ グランデ車

操作レバーを好みの位置に一度セットすれば, 室内を常に快適な温度に自動調整します。

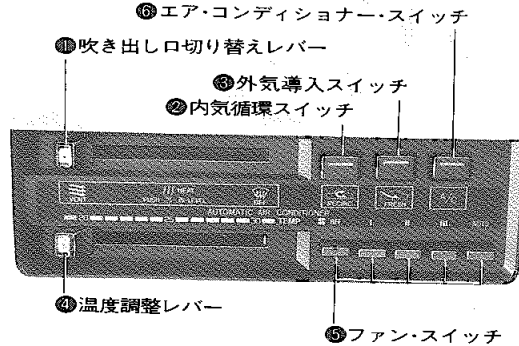
▶ ガラスの曇りを取るとき(除湿)
 <レバーのセット位置>



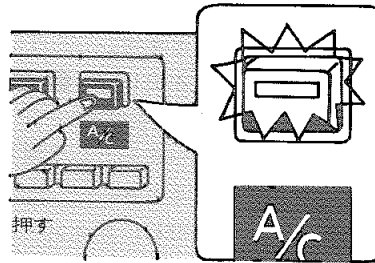
<吹き出し口>



1. ⑤のスイッチをONにします。
 2. 雨天時など曇りやすいとき, 室内の湿気を取り除きます。
 3. ③のレバーはCOOLからWARMの間で調節します。
- ★外気温が0℃以下のときは, クーラーが作動しません。ガラスが曇るときは①のレバーをDEFの位置にしてください。



▶ エア・コンディショナー・スイッチ

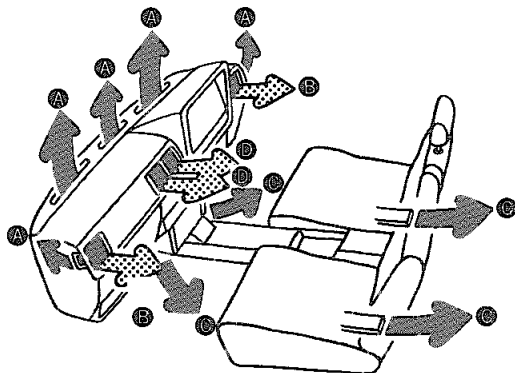


1. ファン・スイッチをONにします。

2. エア・コンディショナー・スイッチを押して, ONにすると作動し作動表示灯が点灯します。
3. もう一度スイッチを押すとOFFになり作動は停止します。

*印のついているものは巻末の装備品一覧表をご覧ください。

<吹き出し口>



のときOFF，約30°C～50°CのときLO，約50°C以上になるとプロアは自動切り替えとなります。

吹き出し口→B C
(Aから少々)

曇り取り……窓ガラスの曇りを取るとき



吹き出し口→A B
(Cから少々)

①吹き出し口切り替えレバー

換気……強制換気またはクーラーとして使用する
(VENT)



吹き出し口→B D

頭寒足熱……レバーがHEAT位置のとき押すと頭寒足熱の冷暖房を行いません。



ただし，寒冷時(-10°C以下)に使用すると上下の温度差が少

なくなり，左右吹き出し口から温風が出てきます。

吹き出し口→B C
(Aから少々)

暖房……ヒーターとして使用する



ただし，ファン・スイッチをAUTOの位置で使用すると，冷却水温が約30°C以下

②内気循環スイッチ



……内気循環で，希望温度に保ちます。急速冷房，外気がよごれている場合に使用します。

③外気導入スイッチ



……外気導入式に切り替わります。

④ 温度調整レバー

希望温度に合わせてください。
室温が自動的に希望温度になるよう
作動します。

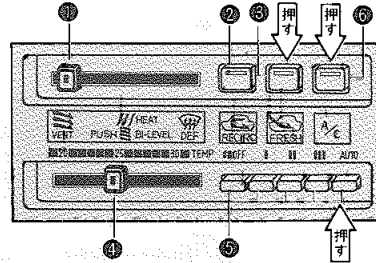
⑤ ファン・スイッチ

OFF……………オート・エア・コン
ディショナーの作動
は停止します。

AUTO……………吹き出し口の風量を
自動調整し、希望温
度に保ちます。

I II III……風量を、手動で3段
階に調整できます。
ただし、この場合室
温は温度調整レバー
の目盛りに対し多少
ずれることがあります。

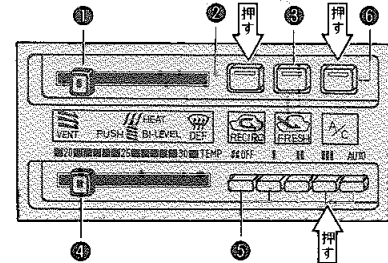
▶ 通常のセット位置



年間を通して通常はこの位置で使用し
ます。

1. 渋滞やトンネル内などで外気がよ
ごれているときは、一時的に②の
スイッチを押します。
2. ④のレバーを好みの吹き出し口
に切り替えます。
3. ④のレバーは好みの温度にセット
します。

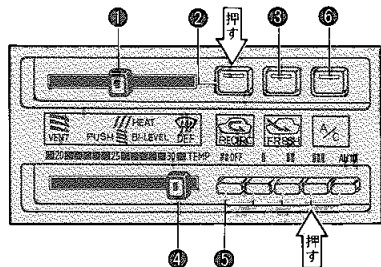
▶ 早く冷房したいときは



炎天下に長時間駐車した車に乗り込む
ときなどに、早く冷房をきかせたいと
きはこの位置で使用します。

1. 冷房が効きすぎてきたと感じられ
たときは、通常のセット位置にし
ます。

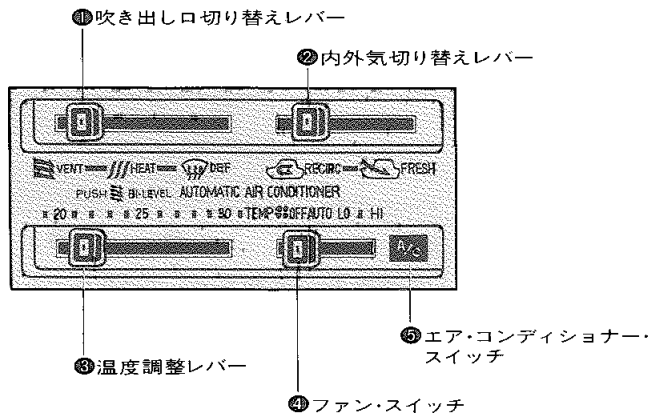
▶ 早く暖房したいときは



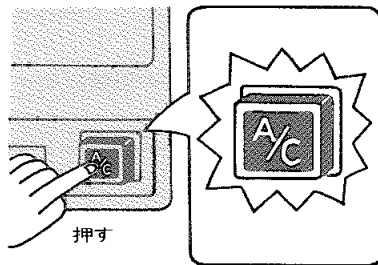
通常のセット位置から車内の温度を早く上げるときはこの位置で使います。

1. この位置で長時間使用すると、ガラスが曇りやすくなりますので、③のスイッチを押すか、または通常のセット位置にします。

グラデ車を除く注文装備



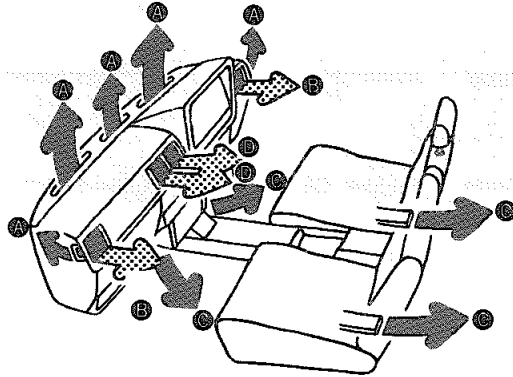
▶ エア・コンディショナー・スイッチ



1. ファン・スイッチをONにします。

2. エア・コンディショナー・スイッチを押して、ONにすると作動し作動表示灯が点灯します。
3. もう一度スイッチを押すとOFFになり作動は停止します。

<吹き出し口>



のときOFF, 約30°C~50°CのときLO, 約50°C以上になるとブローは自動切り替えとなります。

吹き出し口→B C
(Aから少々)

曇り取り……………窓ガラスの曇りを取るとき



吹き出し口→A B
(Cから少々)

① 吹き出し口切り替えレバー

換気……………強制換気またはクーラーとして使用するとき



吹き出し口→B C

頭寒足熱……………レバーがHEAT位置のとき押すと頭寒足熱の冷暖房を行いません。



ただし, 寒冷時(-10°C以下) に使用すると上下の温度差が少

なくなり, 左右吹き出し口から温風が出てきます。

吹き出し口→B C
(Aから少々)

暖房……………ヒーターとして使用するとき。



ただし, ファン・スイッチをAUTOの位置で使用すると, 冷却水温が約30°C以下

② 内外気切り替えレバー

内気循環……………内気循環で, 希望温度に保ちます。急速冷房, 外気がよごれている場合に使用します。



(RECIRC)

外気導入……………外気導入式に切り替わります。



(FRESH)

⑬=ヒーター、エア・コンディショナーの使い方

⑬ 温度調整レバー

希望温度に合わせてください。
室温が自動的に希望温度になるよう
作動します。

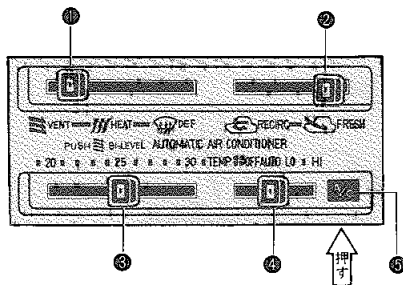
⑭ ファン・スイッチ

OFF……………オート・エア・コン
ディショナーの作動
は停止します。

AUTO……………吹き出し口の風量を
自動調整し、希望温
度に保ちます。

LO | HI……………風量を、手動で3段
階に調整できます。
ただし、この場合室
温は温度調整レバー
の目盛りに対し多少
ずれることがあります。

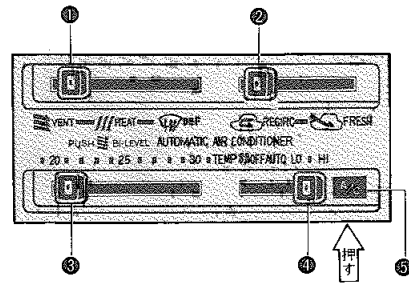
▶ 通常のセット位置



年間を通して通常はこの位置で使用し
ます。

1. 渋滞やトンネル内などで外気がよ
ごれているときは、一時的に②の
レバーをRECIRCの位置で使用し
ます。
2. ①のレバーを好みの吹き出し口に
切り替えます。
3. ③のレバーは好みの温度にセッ
トします。

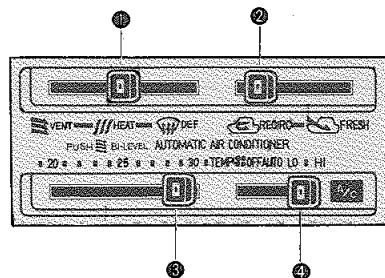
▶ 早く冷房したいときは



炎天下に長時間駐車した車に乗り込む
ときなどに、早く冷房をきかせたいと
きはこの位置で使用します。

1. 冷房が効きすぎてきたと感じられ
たときは、通常のセット位置にし
ます。

▶ 早く暖房したいときは



通常の設定位置から車内の温度を早く上げるときはこの位置で使います。

1. この位置で長時間使用すると、ガラスが曇りやすくなりますので、**②**のレバーを**FRESH**の位置にするか、または通常の設定位置にします。

